

にもつかを検討するため、準備段階としての集りを1～2回予定している。

考え方としては、法学研究者の利用者としての

声と、図書館の対応ということになると思われるが、実現が望まれている。

唐学齋旧蔵書目録の完成

このほど(本年1月)、文学部図書室より「唐学齋旧蔵書目録」(京都大学文学部図書月報 別巻第13)が刊行された。これは、本学名誉教授の吉川幸次郎博士が昭和42年定年退官の際に本学に譲渡された分の蔵書を整理したもので、経学と五四前後の掌故に関する資料の稀覯書が少くない。全体の冊数は和漢書481部621冊と洋書7部7冊である。

昭和51年度 講演会開催 ー附属図書館ー

昭和51年度の附属図書館主催による講演会が次のように決まった。

と き： 昭和52年3月17日(木)

と ころ： 京都大学附属図書館会議室

講 師： 鈴鹿 蔵氏

演 題： 徳川初期の刊本について

今回は本館所蔵の古書を中心に、演題による講演会がもたれることになったが、周知のように同氏は永らく本学に勤務され、その人柄、学識は吾々のよき大先輩として大きな存在である。これを機会に、今後の図書館職員研修の場で御教示を期待したい。